

請 願 ・ 陳 情 文 書

(請 願)

請願第 1 号

国民健康保険税の値上げに反対する請願 (不採択)

(請願の趣旨)

青森市は今定例市議会に大幅な国保税の値上げを提案した。

昨年 of 公的年金控除の縮小に連動して国保税、介護保険料が値上げになり、その値上げ分は07年度約 2 億6400万円、08年度は約 3 億6000万円になると昨年 of 12月議会で明らかになったばかりである。

今回さらに医療分と介護分合わせて平均年 1 人当たり 1 万6492円の値上げが提案されたことは、市民の生活実態と負担能力を無視したもので認めることはできない。

値上げが実施されれば、これまで以上に払えない人がふえるのは明らかである。既に約1000世帯に資格証明書が発行されており、市民の命と健康にも重大な影響を与える。

よって、国保税の値上げをやめるよう求めるものである。

(請願事項)

国保税の値上げをやめること

平成19年 3 月 1 日

請 願 者 青森市長島三丁目21 - 8
青森民主商工会内
青森市国保税の値上げに反対する会
代表世話人 小 泉 重 年
紹介議員 藤 原 浩 平

(陳 情)

陳情第 1 号

70 歳以上のバス無料制度存続を求める陳情書 (不採択)

(陳情の趣旨)

青森市は行財政改革プランで「受益と負担の見直し」の一環として、高齢者バス (高齢者福祉乗車証交付事業) の無料化を見直し、10月 1 日から有料にすることを明らかにした。

見直しは、乗車 1 回につき100円を支払う「ワンコイン制度」と、一定期間何回でも乗車できる「割引フリーパス制度」を導入するとした。

この間、社会保障制度の改悪や税制改悪で高齢者の負担増が大問題となっている。さらに追い打ちをかけるバスの有料化となれば死活にかかわることであり納得できない。

30年以上前に、75歳以上の人を対象にスタートした制度は、現在70歳以上の高齢者に交付され、お年寄りから喜ばれている素晴らしい制度である。制度を存続し充実させることが市政の責任である。

青森市はこれ以上の高齢者に対する負担増をやめて、生きがいを奪わないようにしていただきたい。現行の70歳以上の高齢者バス無料制度を存続するよう強く求める。

(陳情事項)

現行の70歳以上の高齢者バス無料制度を存続していただきたい

平成19年3月1日

陳 情 者 青森市中央二丁目6 - 6
全日本年金者組合青森県本部東青支部
執行委員長 門 倉 昇
